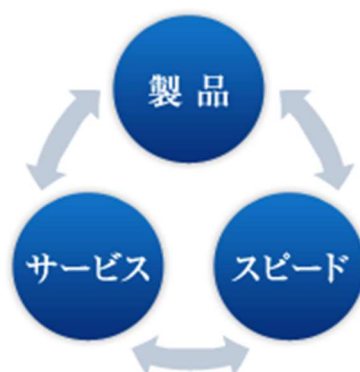


環境経営レポート

2024 年 1 月～2024 年 10 月



三洋精工が繋ぐのは信頼です。

2025 年 1 月 29 日



環境経営方針

(基本理念)

弊社は主に工業用ゴム部品、ドア部品を扱う商社です。

社是のスピード、スマイル、スマートをモットーとして、事業活動を通して環境に与える影響を考慮した製品を販売し顧客満足度を向上します。また、販売活動における環境への負荷を意識し環境管理システム及び環境負荷を継続して改善を図ります。

(基本方針)

1. 事業活動が環境に与える影響を評価し、電力、ガス、ガソリンの使用量削減により **CO2** 排出量を減らします。
廃棄物、水使用量の削減により省資源に取り組みます。
エコ製品拡大を図り顧客満足度を向上します。
2. 環境関連法規制を順守し環境に対する汚染予防に努めます。
3. 環境方針を全従業員に徹底すると共にグリーン購入を推進し、環境保全活動を推進します。
4. 環境活動に関する情報を開示し、地域・社会のコミュニケーションを図ります。

令和 3 年 2 月 25 日

三洋精工株式会社

代表取締役 並木哲也

1. 組織の概要

2024.4.22 現在

① 事業所名

三洋精工株式会社

代表取締役 並木哲也

② 所在地

〒175-0093 東京都板橋区赤塚新町 2-10-5 ハイムM・S・T

③ 環境管理責任者及び担当者氏名

環境管理責任者：代表取締役 並木哲也 Tel.03-5904-5450 Fax.03-5904-5453

t-namiki@sanyo-s.com

④事業の概要

- ・工業用ゴム部品、機械・機能部品、電気機器製品の販売
- ・各種部品の設計・試作・組立

⑤事業の規模

創立 昭和 33 年 1 月

資本金 10 百万円

売上高 200 百万円 (2024 年度)

決算月 12 月

従業員数 7 名

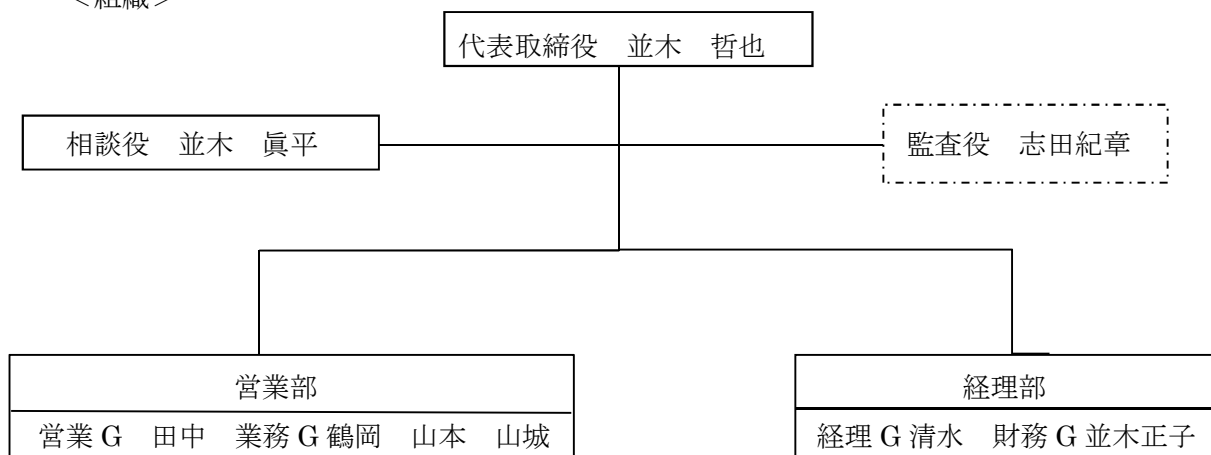
延べ床面積 115.88 m²

1-2. エコアクション活動対象

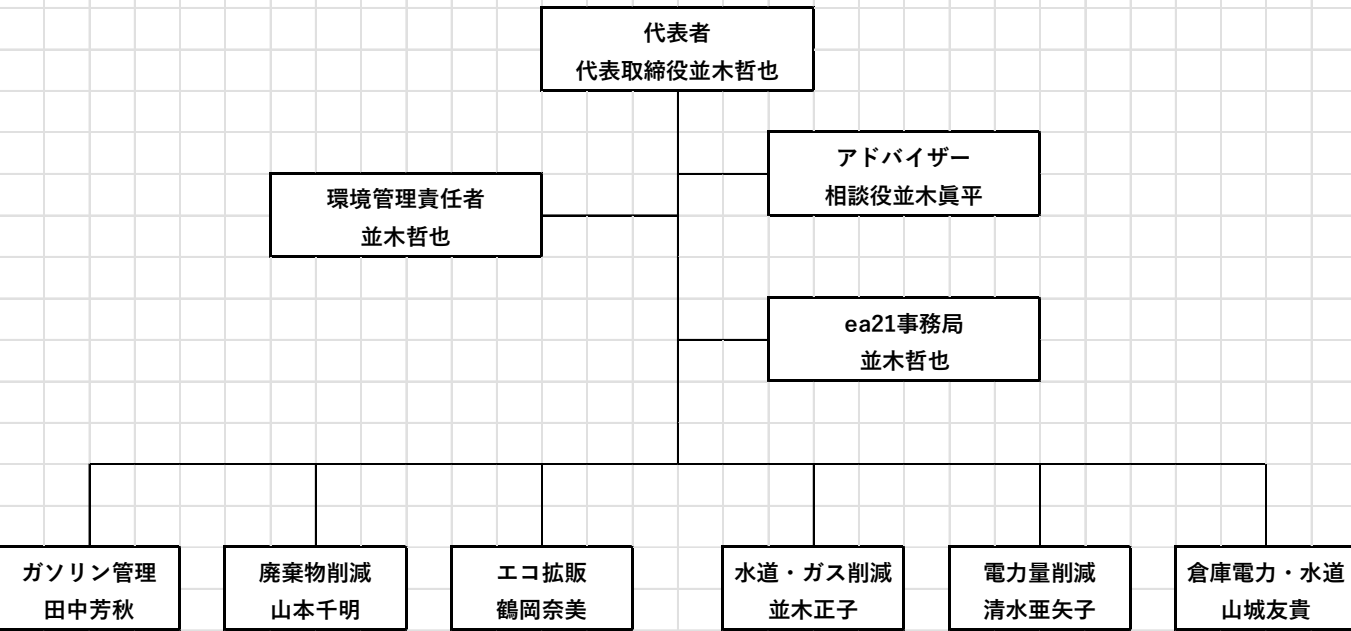
平成 25 年 7 月より全組織を対象に活動開始

令和 5 年 4 月より倉庫を活動対象に追加

<組織>



2023 年 6 月 組織変更



役割・責任・権限	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・経営上の課題及びチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する（代表者からea21の権限を委任） ・実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ・環境目標・環境活動実施計画書/実績表の作成 ・環境目標及び環境活動計画の達成状況の報告 ・教育訓練の実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境活動レポート作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境への負荷及び取り組みチェック実施 ・環境関連法規等のとりまとめ表作成と遵守評価実施 ・環境関連文書・記録の管理 ・ea21の推進
環境目標責任者	・環境目標及び環境活動結果の実施・確認・評価 ・環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理 ・実施上の問題点の把握・改善処置の提案 ・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・ea21で決められた各自の役割を実施

3. 環境経営目標・環境経営計画

3-1. 第3期中期目標・実績・評価（本社・倉庫）

本社		2024 年度 目標値	2024年度 (1 月～10 月)	2025年度 (1～12 月)	2026年度 (1～12 月)
1. 二酸化炭素排出量削減 kg-co2	目標	7,631		9,066	8,976
	実績		7195.79		
	実績・評価 対基準値	96%	94.30% ○	95.00%	94.00%
・従量灯系電力 kwh	目標	3,193		3,794	3,757
	実績		2,551		
	実績・評価 対基準値	96%	79.89% ○	95.00%	94.00%
・低圧系電力 kwh	目標	1,937		2,301	2,278
	実績		1,862		
	実績・評価 対基準値	104.30%	96.13% ○	124.00%	123.00%
・ガソリン ℓ	目標	2,349		2,791	2,764
	実績		2083.95		
	実績・評価 対基準値	96.00%	88.72% ○	95.00%	94.00%
・都市ガス m ³	目標	231	231	274	271
	実績		197		
	実績・評価 対基準値	96.00%	85.28% ○	95.00%	94.00%
2. 廃棄物削減 kg	目標	130	130	156	156
	実績		124		
	実績・評価 対基準値	100.00%	95.38% ○	100.00%	100.00%
3. 水道水の削減 m ³	目標	43	36	43	43
	実績		39		
	実績・評価 対基準値	100.00%	108.33% ×	100.00%	100.00%
4. エコ払販 千円	目標	166,666	166,666	220,000	240,000
	実績		164,801		
	実績・評価 対基準値	計画値	98.88% ×	—	—

倉庫		2024 年度 目標値	2024年度 (1 月～10 月)	2025年度 (1～12 月)	2026年度 (1～12 月)
倉庫電力 kwh	目標	442	442	525	520
	実績		804		
	実績・評価 対基準値	99.00%	181.90% ×	98.00%	97.00%
倉庫水道水 m ³	目標	2	2	2	2
	実績		3		
	実績・評価 対基準値	100.00%	150% ×	100.00%	100.00%

※第3期中期目標期間での電力 CO2 排出係数は R3.1 月 7 日発表の東京ガス＝0.364kg-co2/kwh を使用

※グリーン調達は 2023 年度より目標から外す。

※倉庫電力、倉庫水道は通年での使用がまだないので、2023年6月～12月の実績を2倍したものを基準とした。

3-2 環境経営計画

	担当	活動	時期	評価
従量灯、低圧系 電気使用量の削減	清水亜矢子 倉庫電力・ 山城友貴	・蛍光灯間引き(4本) ・昼消灯(12本) ・原則、エアコンは使用しない。 ・夏は扉換気と扇風機、冬はガスストーブとヒーター、加湿器 ・クールビズを実施(5月～9月)	H25.6月 日常実施 〃 〃 〃	○ ○ △ ○ ○
ガソリン削減	田中芳秋	・環境省エコドライブ10のすすめ ・節電(エアコンは空気を入れ替えてから) ・宅配便・運送会社の利用を促進 ・ついで納品で効率的な納品 ・車両別月次燃費表作成	日常実施 〃 〃 〃 〃	△ △ ○ ○ ○
都市ガス削減	並木正子	・暖房時はヒーターも併用する ・エアコン暖房と比較してガス料金が安いので、ガスストーブを主に使用する。	冬季 〃	○ ○
廃棄物削減	山本千明	・裏紙使用、シュレッター ・プリントミス抑制 ・梱包材の再利用(段ボール、緩衝材) ・資源ごみと燃やすごみ／燃やさないごみの分別徹底 ・継続目標とした。156K g／年間	日常実施 〃 〃 〃 〃	○ ○ ○ ○ ○
水道使用量の削減	並木正子 倉庫水道・ 山城友貴	・節水意識の徹底 ・漏水のチェック(月一回、)量水計) ・現状維持を目標とした。43 m³／年間	日常 毎月末 日常	○ ○ ○
エコ拡販	鶴岡奈美	・見積回答の迅速化 ・既存顧客のシェア拡大 ・新規顧客開拓営業 ・各年の目標に準ずる		△ ○ ○

評価基準 ○：実施された △：一部に不十分 ×：不十分・検討や教育

4. 環境経営計画への取組評価と次年度への取組内容

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減 (電力の削減) ①蛍光灯間引き ②昼消灯 ③原則、エアコンは使用しない ④夏は扉換気と扇風機、冬はストーブとヒーター	① 4本間引きを実施。 ② 100%実施した。 ③ 無理ない範囲で使用。 (熱中症対策の為エアコン使用) クールビズも実施した。 ④ ヒーターとの併用で暖房効率UP	① 継続実施する。 ② 冬はヒーターと併用を継続。
1. 二酸化炭素排出量の削減 (ガソリンの削減) ①環境省エコドライブ10のすすめ ②節電(エアコンは空気を 入れ替えてから) ③宅配便・運送会社の利用を 促進(メーカー変更) ④車両別、月間燃費表を作成 する。	① 真夏の実施は困難。無理のない範囲で。 ②～④は継続実施。 ハイブリッド車に買い替え。ガソリン使用料は減った。	① エコドライブの推進をする。 ② 継続実施する。 ③お客様によりヤマト指定もあるので併用。 ④継続実施する。
1. 二酸化炭素排出量の削減 (都市ガスの削減) 暖房時は扇風機も併用する。	暖房は事務所がかなり寒いので、ヒーターとの併用し完全ではないが改善。	暖房器具の使用ルールがあればなおいいか。検討。
2. 廃棄物の削減 紙ごみの削減	裏紙使用、プリントミスの抑制 梱包材の再利用 資源ごみ、廃棄ゴミの分別徹底 古紙業者へ再生委託(紙、封筒、 チラシなども含める)	現状維持を目標とする。
3. 水道水の削減 ①節水意識の徹底 ②漏水のチェック(1回/月)	①実施したが、合計使用量が少ない為、効果が小さい。	現状維持を目標とする。 43 m³/年とする。
4. エコ拡販 ①新規開拓営業 ②既存顧客のシェア拡大	①引き継いだ顧客の売上増。 ②エアダンパーが増加。	② 昨年のコガネイ様案件が全部ではないが成約。残りの製品も成約に向け進めていく。 各年の目標に準ずる。

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟の有無

	自社の対応	評価
板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例	事業系ごみの分別徹底	◎
	指定日での排出（月、水、金）	◎
	有料シール券の貼り付け	◎
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託業者との契約	該当なし
	マニフェスト交付、管理、交付報告	◎
家電リサイクル法	家電リサイクル券の購入	該当なし
自動車リサイクル法	引取り業者へ引き渡し	◎
	リサイクル預託金の支払い	◎
資源リサイクル法	パソコン交換時、購入会社へ返却	該当なし
フロン排出抑制法	業務用エアコン室外機の簡易点検	◎

環境関連法規への違反はありません。なお、関連当局よりの違反の指摘は、過去三年間ありません。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果と指示

・今回は本社・水道、倉庫・水道、電気が未達であった。

・倉庫は一人体制であったものが二人体制となり毎日稼働していたので、電力（目標比 181.90%）、水道（目標比 150%）ともに大幅に超えてしまった。

・本社・水道は目標比 108.33%とわずかに超えてしまった。引越しのための掃除などで使用量が増えた。

・ガソリン削減は、引越し準備のため顧客への外出ができなかったことから走行距離が減り、ガソリン使用料も減った。目標比 88.72%

・エコ払販は、98.88%と概ね計画通りだが、夏頃から各社落ち着いてしまっている。

・2025 年は新事務所に引越し 1 拠点での活動になるので、全体の使用量の削減を目指す。